



心をつながる

くみんなでふくし大作戦！ 総括

【詳細】 社会福祉課 032(6)6356

平成22年度～23年度に実施した「みんなでふくし大作戦！」では、子どもからお年寄りまで、市民の誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる「ふくしのまち」づくりを目的に、さまざまな取り組みを行ってきました。今回の特集では、この大作戦で行った事業を振り返りながら、苦小牧市の福祉に対する考え方などについてお知らせします。



「みんなでふくし大作戦！」では、大作戦シリーズ第4弾として、まちぐるみで福祉に取り組んできました。少子高齢化などを背景として、人と人とのつながりを大切にするのが求められるなかで、一人ひとりが福祉を身近に感じ、自身自身のこととして考えるきっかけを作るために、3つのテーマを柱に展開していきました。

1 「ふくしの心を高めましょう」

誰もが持つ『思いやり』や『気づかい』といった「ふくしの心」を高めるために、「あいさつ声かけ運動」を実施しました。こんにちは 笑顔でひと声 わたしから などの標語のもとに、コミュニケーションの始まりである、あいさつの大切さを学校や企業、地域へ呼びかけました。

2 「ふくしの絆を広げましょう」

地域福祉の取り組みや活動に触れてもらうことで、理解や考えを深め、福祉に携わる人々の輪を拡大することを目的と